

品種 早生水稲 良質良食味と耐冷性を兼ね備えた「いわてっこ」

水稲「いわてっこ（岩南16号）」は、岩手県では「早生の中」に属するうるち米である。耐冷性は「極強」で、収量はやや多収である。食味が良く、玄米品質も優れる。平成13年から岩手県で奨励品種として採用された。

表1 「いわてっこ」の主な特性

系統・品種名		いわてっこ	たかねみのり	あきたこまち
早晚性		早生の中	早生の中	中生の早
草型		偏穂数型	偏穂数型	偏穂数型
出穂期(月日)		8月4日	8月3日	8月7日
成熟期(月日)		9月20日	9月19日	9月23日
稈長(cm)		75.5	73.6	75.9
穂長(cm)		16.9	16.8	16.7
穂数(本/m ²)		436	388	412
芒の多少・長短		やや少・やや短	少・短	稀・短
ふ先色		黄白	黄白	黄白
脱粒性		難	難	難
耐倒伏性		中	やや強	中
穂発芽性		やや難	難	難
耐冷性		極強	強	中
いもち	真性	+	Pi i	Pi a, Pi i
	葉	中	やや強	やや弱
耐病性	穂	強	強	やや弱
玄米収量(kg/a)		55.9	53.0	53.3
対標準比		106	(100)	101
玄米千粒重(g)		22.7	22.8	21.7
品質(検査等級)		1.5	2.2	2.1

来歴

母親：「ひとめぼれ」
 父親：「東北141号」
 (後の「こころまち」)
 交配年：昭和63年
 育成地：銘柄米開発研究室

稈長は「たかねみのり」に比べてやや長く、「あきたこまち」に比べてやや短い。

出穂期・成熟期は「たかねみのり」に比べて遅く、「あきたこまち」に比べて早い。

玄米の外観品質は「たかねみのり」に比べて優り、「あきたこまち」に比べて同等～やや優る。

食味は「たかねみのり」に比べて明らかに優り、「あきたこまち」に比べて同等である。

耐倒伏性が「たかねみのり」に比べてやや劣るので、基肥はやや減肥とする。

葉いもちの抵抗性は「中」であるため、基本防除が必要である。

注1) 県北農業研究所、平成9～11年標準区のデータ。

注2) 玄米収量及び玄米千粒重は、1.9mm篩目使用。

注3) 検査等級を1上～3下、規格外とし、それぞれ1～9、10点とした場合の平均。



写真1 稲体の草姿

左から「たかねみのり」「いわてっこ(岩南16号)」「あきたこまち」



写真2 籾と玄米

左から「たかねみのり」「いわてっこ(岩南16号)」「あきたこまち」

「いわてっこ」の栽培適地は、主に中山間部及び北部である。